

二年 かん字の読み方	単元	氏名	年組番	
------------	----	----	-----	--

つぎの文を、声に出して読んでみましょう。

ぼくのおとうとは、四月四日の日曜日に、四さいになりました。

◎ この文の中には、「四」と「日」が三回ずつ出てきました。それぞれ、つぎのような読み方です。

四月	四月	四さい
し	よつ	よん

四日	日曜日	日曜日
か	にち	び



一つのかん字でも、読み方は、一つとはかぎりません。ことばによつて、ちがう読み方をすることがあります。

「生うきる」「生はえる」の——線のような、かん字の下にひしひして書くかなを、**おくりがな**といいます。おくりがなには、かん字の読み方をはっきりさせるはたらきがあります。おくりがなに気をつけて、かん字を正しく読むことが大切です。

二年 かん字の読み方	単元	氏名	年組番	13問

1 いくつかの読み方があるかん字です。() () に読み方を書きましょう。

上

① おく上から、運動場が見える。() ()

② テーブルの上に、コップをおく。() ()

③ げんかんに、上ばきをおく。() ()

④ 川上で魚つりをする。() ()

⑤ トラックに、にもつをつみ上げる。() ()

⑥ 学校のかいだんを上る。() ()

下

⑦ ろう下を歩く。() ()

⑧ 夕方、下山する。() ()

⑨ ビルの下で雨やどりをする。() ()

⑩ 川下は、水のながれがおそい。() ()

⑪ 頭を下げる。() ()

⑫ 夏休みに川下りをする。() ()

⑬ かばんを下ろす。() ()

二年 かん字の読み方	単 元	氏 名	年 組 番	7問

◎ たくさんの読み方があるかん字です。読んでみましょう。

(1) 生

1 二年生 <small>せい</small>	2 生 <small>い</small> きる	3 生 <small>なま</small> もの	4 生 <small>う</small> まれる	5 生 <small>は</small> える
-------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------

○ 1から5の読み方をつけて、主語と述語のある短い文をつくりましょう。

5	4	3	2	1

(2) 入

1 入 <small>い</small> れる	2 入 <small>はい</small> る
-------------------------	-------------------------

○ 1と2の読み方をつけて、主語と述語のある短い文をつくりましょう。

2	1